

# シリーズ 三郷学

## 〈三郷学の視点④6〉

### 三郷学の実践

#### 4. つなぐ(人の輪)

三郷市では、誰もが健康で、心豊かに暮らせるよう、スポーツ活動の推進に取り組んでいます。

毎年開催している「みさとシティハーフマラソン～かいちゃん&つぶちゃんマラソン～」では、今年5千人に迫るランナーが三郷のまちを駆け抜けました。

今大会から三郷市とギリシャ大使館、日本大学文理学部のスポーツ交流事業がスタートしています。これは日本大学文理学部学生のインターンシップ制度による職場体験研修活動をきっかけとして始まりました。

6年後のオリンピック・パラリンピック開催の決定や、スポーツ庁創設の検討など、全国的にスポーツ推進への機運が高まっています。三郷市としても、このスポーツ事業を継続・発展できるよう取り組んでいくことが、社会環境の変化にしっかりと目を向け、人とのつながりを生かし、三郷の歩むべき方向性を常に考え行動する「三郷学」の実践につながります。

※三郷市のインターンシップ制度は平成21年に制定された「三郷市自治基本条例」の理念を実現する一つの手法として平成23年度に制度化されました。



ギリシャ大使館から  
オリーブ冠の授与